

## ◆団体基本情報

No.	7	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市医療センター		
所在地	〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷五丁目22-1						
電話番号	022-252-1111		FAX番号	022-252-0454		所管 部局	健康福祉局 医療政策課
団体ホームページ	<a href="http://www.openhp.or.jp/">http://www.openhp.or.jp/</a>						
代表者職氏名	理事長 亀山 元信			設立年月日	昭和49年12月5日		
基本財産等	10,000 千円		市の出捐額 (割合)	6,000 千円 ( 60.0 %)			
設立目的	仙台市及びその周辺の地域住民の公衆衛生の向上と包括医療の推進を図り、もって住民の健康と福祉の増進に寄与すること。						
事業概要	公衆衛生に関する指導相談事業。医学及び医療の向上に関する調査研究。オープンシステム病院、診療所及び介護老人保健施設の開設による公益的医療。生活習慣病の検診事業。介護保険法による各種サービス事業。その他この法人の目的達成に必要な事業。						
評価対象決算期	令和5年4月1日～令和6年3月31日						

## ◆人員等の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	1 人
②常勤役員平均年齢	79.0 歳	80.0 歳	75.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	6,216 千円	6,169 千円	6,433 千円
④職員数	811 人	798 人	795 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	4 人	4 人	4 人
⑤職員平均年齢	41.2 歳	41.2 歳	42.1 歳
⑥職員平均年間給与	5,716 千円	5,881 千円	5,798 千円

## ◆主要財務データ

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①当期経常増減額	897,959 千円	523,963 千円	15,906 千円
②当期経常外増減額	1,830 千円	142 千円	△ 669 千円
③当期一般正味財産増減額	899,667 千円	523,983 千円	15,237 千円
④一般正味財産期末残高	3,521,074 千円	4,045,056 千円	4,060,293 千円
⑤指定正味財産期末残高	3,356,207 千円	3,171,651 千円	2,874,434 千円
⑥正味財産期末残高	6,877,281 千円	7,216,707 千円	6,934,727 千円
⑦長期借入金残高	8,418,500 千円	7,881,100 千円	7,343,700 千円

## ◆市の財政的関与

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①市からの補助金	767,041 千円	759,043 千円	766,331 千円
②市からの委託料 (指定管理料含む)	157,379 千円	158,393 千円	26,019 千円
③市に対する収入依存度	7.72 %	7.76 %	6.93 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和5年度事業費
仙台オープン病院	オープンシステム（開放型病院）による登録医との共同診療（地域医療支援病院）。人間ドックや脳検診等、市町村・事業所を対象とした大腸がん検診を実施。（人間ドック・健診施設機能評価認定） 広域仙台圏救急医療システムのコントロールタワーとして二次救急を中心とした救急事業（365日24時間対応）。管理型研修指定病院としての研修医受入。地域医療推進事業（市民医学講座・地域健康講座の開催、健康教育パンフレット発行）。看護学生に対する就学資金貸付事業。	10,443,661 千円
茂庭台診療所	内科・小児科の外来診療	21,052 千円
茂庭台豊齢ホーム	介護保険制度の施設入所の他、短期入所療養介護、通所リハビリテーション、通所介護、訪問リハビリテーションを実施	899,498 千円
居宅支援センター豊齢	介護保険制度の居宅介護支援事業所としてケアプラン作成等ケアマネジメントの展開を実施	9,799 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	<p>【病院】基本方針である急性期医療、救急医療、健診事業を積極的に展開してきた。コロナ感染症の「5類感染症」移行後は病床を一般に開放し、感染防止に努めながら引き続きコロナ陽性患者の受入れを行った。患者数は前年実績値や目標値に至らなかったところもあるが、入院診療単価は令和3年度から7万円超を維持し、外来診療単価は年々増加している。救急外来受診者数はコロナ症状患者の受入れが調整できなかつたことで大きく減少した。</p> <p>【茂庭】在宅医療・医療と介護の連携推進の方針に従い、当施設の3事業が連携し、利用者の自立支援を軸に事業を展開した。市からの委託による仙台市地域在宅療養推進連絡会（西多賀地区）はコロナ禍で活動を休止しているが、中田、長町、八木山地区との合同研修会を実施するなど、各地域の関係機関との連携を強めたほか、当施設の強みである認知症介護やリハビリテーション、栄養管理等について機関誌等に掲載し、市民センター、各町内会等に配布した。また、地域包括支援センター等に医師、リハスタッフ等専門職の講師を派遣し、市民の介護知識等の普及、向上に努めた。</p>	<p>仙台オープン病院では、社会的に需要の高い専門医療をさらに強化し、救急搬送患者を積極的に受け入れ、市内の二次救急医療に大きく貢献しているほか、新型コロナウイルス感染症にも確実に対応していることは、大いに評価できる。茂庭台豊齢ホームにおいては、医療・介護連携での強みを活かし、地域住民の健康と福祉の増進に貢献できたことは評価できる。</p>
2. 業務・組織管理	<p>【病院】令和6年4月スタートの医師の働き方改革を含めて医師の確保に努めてきた。例年以上に研修医の応募も多く6名のフルマッチが成立した。新設の呼吸器外科医師の採用も実現し、今後の医療展開に幅が広がった。看護師採用に向けても急性期医療や救急医療を継続するために人材確保に奮闘した。今後、業務内容や組織的な活動を継続するためにも人材確保に努めていく。</p> <p>【茂庭】令和5年～7年を計画期間とする第4期中期経営計画を策定し、計画に基づき、利用者確保に向けた医療機関等への営業、機関誌を通じた当施設の情報提供を行った。また、リハビリ等の強化による在宅復帰の推進により、超強化型老健施設の算定要件を通年で満たすことができた。5年度には介護ロボット・ICT導入事業補助金を活用し「電子記録」（LIFE活用可能）を導入し、業務効率の向上を図っている。</p>	<p>医師の働き方改革への対応として早期に勤務形態を変更し、結果として時間外労働についても削減でき、業界全体でも先進事例となっていることは高く評価できる。中期経営計画に掲げる人材確保や利用者確保等に着実に取り組まれた。</p>

<p>3. 財務状況</p>	<p>【病院】令和5年5月にコロナ5類となりコロナ専用病床を一般に開放した。前年比入院患者数は増加、外来患者数は減少ではあったが、医業収益は前年比増となった（入院：患者数増、外来：単価増）。コロナ補助金の繰越しもあり、若干の黒字ではあったが、物価高騰により光熱費増、材料費や機器更新・購入等の費用が増加し厳しい状況であった。今後も費用増が見込まれるため、収益増を図りつつ費用の削減に取り組んでいく。</p> <p>【茂庭】新型コロナウイルス感染症が数回にわたり施設内で拡大したことにより、各サービスの受け入れが制限された。また、感染対策にかかる診療材料、衛生材料の支出も大きく、大幅な減収となった。一方、通所事業、訪問事業はニーズも高く、収益も向上している。</p>	<p>オープン病院においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、外来患者数は減少したが、入院患者数の増加等により増収となっている点は評価できる。引き続き経営改善に取り組み、中期経営計画の実現に努められたい。</p> <p>茂庭台豊齢ホームにおいては、引き続き感染症対策及び利用者確保による収益増加に努め、自立的な経営に取り組まれたい。</p>
<p>4. 今後の方向性及び課題</p>	<p>【病院】物価高騰や設備関係の更新等、令和6年度も費用増加が見込まれ、定年延長制度を構築することを含めて人材確保に努める。また、呼吸器外科が新設され収益増が見込まれるが、病院全体で意識しながら引き続き費用削減に取り組む。</p> <p>【茂庭】高齢化が急速に進む地域において安定的な施設運営を図るため、関係機関との連携強化による利用者の確保、老朽化する施設の整備による安心して利用していただける環境作り、今後確保が困難となることが予想される介護人材の確保に向けた処遇改善等の取り組みを進めるとともに、経費削減を図り、老健施設のモデルとなるよう、地域のニーズを的確に把握しながら経営の健全化に努める。</p>	<p>オープン病院においては、新たな中期経営計画のもと、人材確保や費用削減に努めながら、病院経営の健全化に向けた取り組みを進め、仙台医療圏の地域医療・救急医療を担う病院として、住民から信頼される病院を目指されたい。</p> <p>茂庭台豊齢ホームについても、人材確保や費用削減に努めながら、引き続き稼働率向上に取り組むなどして、地域に必要とされる施設を目指されたい。</p>